

様式第 1

記入例 (単独申請)

令和6年 5月 31日

一般社団法人発明推進協会
会長 岩井 良行 殿

日付は発送日

申請者 住所 〒107-6006 東京都港区赤坂〇-〇-〇
名称 株式会社〇〇
代表者の氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

住所は〒、都道府県名から記入

名称、代表者の役職、氏名を記入

※自然人の場合は氏名を「名称」及び「代表者の氏名」の代わりに記載
※共同申請の場合は連名（代表申請者、共同申請者の順）

令和6年度中小企業等海外展開支援事業費補助金（海外権利化支援事業）
間接補助金交付申請書

<出願手続>
<審査請求>
<中間応答>
のいずれかを記入

中小企業等海外展開支援事業費補助金（海外権利化支援事業）実施要領（以下「実施要領」という。）
第●条の規定に基づき、上記間接補助金の交付について下記のとおり申請します。

なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）、補助金等
に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号）、中小企業等海外展開
支援事業費補助金（海外権利化支援事業）交付要綱（20240318特第3号）及び実施要領の定め
るところに従うことを承知の上申請します。

記

1. 間接補助事業の内容
<出願手続>に係る間接補助事業を行う。
詳細は別紙 1、2及び3のとおり。

2. 外国特許庁への出願の基となる出願番号
特願2022-XXXXXX

3. 外国出願経費
1,512,957円

4. 助成対象経費
1,512,957円

5. 間接補助金交付申請額
750,000円

6. 外国出願経費、助成対象経費及び間接補助金の配分額
別紙2の「5. 間接補助金交付申請額」のとおり。

7. 同上の金額の算出基礎
別紙2の「5. 間接補助金交付申請額」及び別添見積書のとおり。

別紙2（書誌的事項・案件別）の、2-3. 欄に記載の
「日本国出願番号」を転記してください(2件以上の出願を
基礎とする場合は、すべての日本国出願番号を転記)。
※ダイレクトPCT国際出願(公募要領5.(2)③)で
申請の場合はPCT出願番号を転記してください。
※基礎のないハーグ出願(公募要領5.(2)④の括弧書き
部分)で申請の場合、この欄は空白のままとしてくだ
さい。

別紙2（書誌的事項・案件別）の、
5. の太枠セル内の金額をそれぞれ転記

以上

様式第 1

記入例 (共同申請)

令和6年 5月 31日

一般社団法人発明推進協会
会長 岩井 良行 殿

日付は発送日

申請者(代表申請者) 住所 〒100-6001
東京都千代田区霞が関〇-〇-〇
名称 国立大学法人〇〇大学
代表者の氏名 学長 〇〇 〇〇

申請者(共同申請者) 住所 〒107-6006
東京都港区赤坂〇-〇-〇
名称 株式会社☆☆
代表者の氏名 代表取締役 〇〇 〇〇

住所は〒、都道府県名から記入

名称、代表者の役職、氏名を記入

※自然人の場合は氏名を「名称」及び「代表者の氏名」の代わりに記載
※共同申請の場合は連名（代表申請者、共同申請者の順）

令和6年度中小企業等海外展開支援事業費補助金（海外権利化支援事業）
間接補助金交付申請書

<出願手続>
<審査請求>
<中間応答>
のいずれかを記入

中小企業等海外展開支援事業費補助金（海外権利化支援事業）実施要領（以下「実施要領」という。）
第●条の規定に基づき、上記間接補助金の交付について下記のとおり申請します。

なお、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）、補助金等
に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令（昭和30年政令第255号）、中小企業等海外展開
支援事業費補助金（海外権利化支援事業）交付要綱（20240318特第3号）及び実施要領の定め
るところに従うことを承知の上申請します。

記

1. 間接補助事業の内容
<出願手続>に係る間接補助事業を行う。
詳細は別紙1、2及び3のとおり。

2. 外国特許庁への出願の基となる出願番号
特願2022-XXXXXX

3. 外国出願経費
3,025,915円

4. 助成対象経費
2,905,915円

5. 間接補助金交付申請額
1,452,000円

6. 外国出願経費、助成対象経費及び間接補助金の配分額
別紙2の「5. 間接補助金交付申請額」のとおり。

7. 同上の金額の算出基礎
別紙2の「5. 間接補助金交付申請額」及び別添見積書のとおり。

別紙2（書誌的事項・案件別）の、2-3. 欄に記載の
「日本国出願番号」を転記してください(2件以上の出願を
基礎とする場合は、すべての日本国出願番号を転記)。

※ダイレクトPCT国際出願(公募要領5.(2)③)で
申請の場合はPCT出願番号を転記してください。
※基礎のないハーグ出願(公募要領5.(2)④の括弧書き
部分)で申請の場合、この欄は空白のままとしてくだ
さい。

別紙2（書誌的事項・案件別）の、
5. の太枠セル内の金額をそれぞれ転記

以上